



# War Cry

5月号

福音版  
2024  
May  
No.2869

二〇二四年 五月一日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行 広報版・奇数月十五日発行

## イエス様には、何でも 打ち明けられる

朝澤 義人



最初に、皆さんに質問があります。「2185」。この数字は人間しかもっていない、ある数を表していません。何だかわかりますか？

正解は、人の感情の数です。感情というと「喜怒哀楽」の四つを思いますが、喜び、怒り、悲しみ、楽しさの中にもさらにいろいろな感情があるそうです。最近「エモい」という言葉も使われて、感情の動きを表しています。

そのような感情を人間にお与えになったのは神様です。聖書にこう書かれています。フィリピの信徒への手紙四章六・七節

「何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」

このフィリピとは、ギリシャにある小さな町で、伝道者パウロがヨーロッパで初めて福音を伝えた地域です。フィリピには教会ができて、クリスチャンが増し加えられていきました。その人たちを励ますためにパウロが書いたのが、フィリピの信徒への手紙です。実は

パウロはこの時、鎖につながれ、牢獄にいながら、この手紙を書いていました。考えてみてください。普通だったなら、そのような状況では不安と恐怖で何も手につきません。自分は、これからどのような刑罰を受けるのだろうか、どのような生涯を送るんだろう、と。

私たちにも不安や恐怖は起こってきます。新しい年度が始まり、学校や職場が変わっている人も多いと思います。希望はあるけれど、どこか不安でもある時期です。環境が変わり、知らない友達、知らない同僚と出会っていきます。また、新たな立場になり、責任を負わなければならぬ方もいるでしょう。期待と不安が入り混じり、こんな思いを知られたくない、どこか無理して「喜んでいきます」「期待しています」と言ってしまう自分がいるかもしれません。

パウロはいろいろな迫害に遭うなかで、当然、不安や恐怖、さらに「私にはなぜこんなことばかり起こるんですか」という嘆きの感情がいつぱいあったでしょう。しかし、彼はどうすればいいか知っていたのです。それが先ほどの御言葉です。「何事につけ、感謝を

込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、...あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」

パウロは、自分の感情を誰に打ち明ければいいのか、わかっていました。すべての思いをイエス様にもっていくことを知っていたのです。神でありキリスト(救い主)であるイエス様は私たちに、何でも打ち明けてほしいと願っておられます。本当はキツイこと、無理していること。周囲の目を気にして、無理して演じている自分であること。そのことをイエス様はわかっています。お願いします。「ホントにキツイよね」「ホントに頑張っているよね」と労り、受け止めてくださいます。そして私たちの無理している部分、苦しい部分、傷んでいる部分を癒してください。

皆さんの中で、今、苦しく、無理している方がいるかもしれません。どんな思いも唯一わかってくださるのは、イエス様です。そのことを覚えて、何でもイエス様に打ち明けてみましょう。皆さんの心が解放されることをお祈りしています。

(救世軍士官(伝道者))



## 神様の 愛してやまない 子として

長沢 たかふみ 崇史さん  
(カナン・プレイズ・チャーチ牧師)

ユースミニストリー（青年、子どもたちへの伝道）に長く携わり、ワシントンプリザー（礼拝での賛美の導き手）としても活躍しておられる長沢牧師。神様への愛を表す多くの賛美歌を世に送り出しています。その信仰の歩みをお聞きしました。

### クワガタが欲しい！

僕はクリスチャンホームで生まれ育ちました。神様がいらっしゃる当たり前の世界で育ってきたので、いつ神様と出会ったかと言われるとピンとこない感じもあるんですが、そんな中でも個人的に神様を知る機会が何度かありました。

最初は小学校三年生の時、いつも夏にキャンプに行つてクワガタ捕るのが楽しみ

だったんですが、その夏、親が忙しくてキャンプに行けなかつたんです。ということはクワガタが捕れない。僕にとっては大問題でした。友達みんなキャンプに行つてクワガタ捕ってきて家で飼ってるのに、僕だけ持っていない。すごい切なくて母に泣きついたら、母が「祈ったらいいよ」と言うんです。食事の前と夜寝る前は祈ってましたけど、クワガタのために祈るって、ありなんやって知って（笑）。

一週間だったか二週間だったか、がんばって毎日祈つて。ある日、学校から帰ってランドセル置いて友達の家遊びに行こうと、庭のブロックが積んであるところを通ったら、そのブロックの上にクワガタがいたんです。オスのけっこう立派な。僕の家は札幌市内の一札幌って都会なんです。住宅地で、ふつうはクワガタなんていない。なので、めっちゃびびりして、捕まえて家に戻って「お母さん、クワガタがいた！」って報告しました。それでいろいろ考えたんです。僕ががんばって祈ってるから親が買ってきて置いていたん

かな？ 友達が（タカちゃんにも一匹）って置いてくれたんかな？ でもクワガタ逃げるし、そんな勝負かけんよなと思って。でも、もしかしてこれマジで祈り聞かれたんちゃうか、と思つた僕は、もつと祈ったんです。毎日、もつとでかいのください、メスもくださいとか。そしたら毎日、学校から帰ってそこ行ったらクワガタがいて。その夏、僕は友達よりたくさんクワガタを持つことになりました。それで僕は、神様について、今まで頭では知っていたけど、見えないし見たことない。でも本当にいるんだなっていうのを、体験を通して初めて知りました。

じゃあ、いるのに何で見えないのかって親に聞きました。そしたら、大きすぎるから見えないんだって。蟻を手の上に乗せても、蟻は人間の手の上に乗ってることとがわからないのと同じように、神様って大きすぎて見えないお方なんだとわかって。もう一つわかったのが、その神様は僕のことを知ってるということ。ただいるのと、自分を知ってるのとは全然次元が違う。神様が存在してるって、その神様は僕のこと知ってるんだという発見が、僕の中ではけっこう大きいことでした。で、神様が僕のことを知ってるなら、僕も神様のことを知ることができるとか、かもしれない。それがきっかけになって、それまでとは違う感じで神様の存在が自分の中で明確になっていったんです。

### 賛美が止まらなくなつて

小学校六年生ぐらいの時に、親に連れられてある教会での集会に行きました。僕が通っていた教会は、賛美というオルガン伴奏で聖歌、賛美歌を静かにしつとりと歌う感じ。そういう集会、礼拝しか知らなかつたんですが、その時行った教会では、元気にギターのバンドで演奏して賛美してて、僕はそれに衝撃というか、「マジか、こんなのあるの?！」と思いました。びっくりしながらも、賛美のところだけ出て、メッセーの時間には外に出て遊んでました。サッカーしたら、集会の終盤の祈りの時間に親が僕らを呼びに来たんです。今サッカー盛り上

がって、めちゃくちゃいいところだし、と言つても、子どもたちのために祈る時だから行きなさいというので、渋々、会場に行きました。ところがそこで、大人たちが僕らに手を置いて祈ってくれた時に、なんというか、体の内側からすごい熱くなってくるような経験をしました。燃やされるといふか。一緒に祈つてもらつた姉、弟のほうが顕著だったんですけど。

その日以来、僕の中で、もつと神様のことを知りたいという思いが起こつてきて、聖書をすごい読み始めたり、祈ることが楽しくなつていきました。特に賛美が止まらなくなつていって、姉はピアノを弾くんですが、すごい勢いで毎日、賛美の歌をつくり始めたんです。僕もそれ見ていいなと思つて、賛美の歌をつくり始めました。そうやって内側から変わり、生活が変わつてきて、本当に神様という存在、その御子イエス様のことを、自分の体験として知っていききました。

その後、イエス様のことを信じますと告白して洗礼を受けました。

### 揺るがない土台に立ち続ける

「音楽宣教」に携わるきっかけは、と聞かれることがありますが、僕は正直、音楽宣教という意識はそんなにないんです。賛美が大好きで楽しくてというのがなくて、小学六年生の時からずっとつくり続けていました。でも実は、その後もう一山あったんです(笑)。というのは、中学高校とめっちゃ遊びまくって。僕の高校時代って

校時代ってガンダロ全盛期で、周りの友達もそうだったし、僕も真っ黒に日焼けして、金髪ロン毛、アフロとかドレッドにしたりとか。パーティー続きで、クラブでMCみたいな感じで遊びまくって、昼夜逆転して、けっこう無茶苦茶やってたんです。その中で本当に限界が来て、空しく苦しくて、神様に悔い改めていったという……。かなり端折りますが、エス様のために生きていう、生涯、神様のことを伝える働きにどうやってなつた時に、賛美は、賜物として与えられたものとして続けていったという感じなんです。僕はイエス様に全部献げますという思いで献身して、今も働きの多くはメッセージをするんです。集会で賛美リードすることはありませんが、イエス様の福音を伝える、宣教の中の賛美なので、音楽宣教、と特化してはいないんです。



**長沢崇史さん プロフィール**  
2007年関西聖書学院卒業。様々なユースミニストリーを立ち上げ、ワーシップリーダーとして多方面に活動。作曲した賛美歌は日本だけでなく世界中で歌われている。全国47都道府県を巡回し若者たちのネットワークを繋げる働きとともに、様々な所で福音を伝えている。また、賛美礼拝者の育成のため、2021年度よりオンラインの賛美奉仕者学校「リバーワーシップスクール」を設立。現在世界約10カ国から多くの生徒が学んでいる。北海道出身。カナン・プレイズ・チャーチ主任牧師。リバーワーシップスクール校長。カナン祈りの家「CHOP」ディレクター。国内宣教師。



長沢崇史 YouTube チャンネル→

賛美をリードする時  
もどんな時も、僕が絶対  
に、ここが揺れるこ

とはない、自分の中で変わることにない、大事な土台になってるのは、アイデンティティ、自分自身が何者なのか、ということなんです。僕の中で絶対に揺るがないのが、僕は神の子であって、天の愛するお父さんの、愛してやまない対象であるということ。だから、天のお父さんはぼくが賛美して奉仕するのをどれだけ喜んでるかという、そこに対する自信というのは変わらないんですよ。

### ただイエス様を求めて

僕は今まで賛美の歌をたくさんつくらせてもらっているんですけど、どの賛美も自分でつくったという感覚がほとんどないんです。すべての賛美が、神様が与えてくださったという感覚がすごくあって。どの歌も、自分が書いたというより、僕が初めて最初にその歌を聞いた人、最初のリスナーという感覚で、すべての歌に、神様がその時に語ってくれた感じがすごくあります。

### 永遠にあなたと

作詞・作曲 長沢崇史

ただひとつのこと わたしはねがう  
あなたのみそばで 永遠に生きること  
永遠に 永遠に あなたと生きる  
この口は 歌い続ける あなたの愛を



はあなたでした」って、泣きながら告白したんです。その時、イエス様が僕に語ってくれたのが、(私の願いもあなたなんだよ。あなたが働きをうまくやっているかは二の次で、私が欲しかったのはあなたの心だ、私はあなたと一つになりたかったんだ)と。イエス様の心が迫ってきて、涙が止まりませんでした。詩編二七編四節に、

「ひとつのことを主に願ひ、それだけを求めよう。命のある限り、主の家に宿り 主を仰ぎ望んで喜びを得 その宮で朝を迎えることを」という詩があります。あの時、本当に、自分自身の飢え渇きとともにこの聖句の思いがわかっていきました。そこから僕の働きというか、主との歩みが本当に変わっていったんです。牧師だからって義務感からではなく、本当に愛するイエス様に会うために御言葉を読みたい、祈ってイエス様と語りたい、そういう求めが爆発していき、賛美も礼拝も、ただイエス様を求めるためにするというふうになっていきました。

それで、このことを自分は歌い続けよう、自分のただ一つの願いを告白していこう、という思いの中で与えられたのが、この「永遠にあなたと」という歌なんです。本当にイエス様が、もう一度自分との関係を回復して取り戻すために与えてくださった歌だな、と思っています。

創立者 ウィリアム・ブース 大將 リンドン・バッキンガム (万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 スティーブ・モーリス (救世軍本営 東京都千代田区)



世界をみつめて

〈日本〉 ●能登半島地震被災地への支援 活動—第二回食事(炊き出し)支援

救世軍は「能登ヘルプ」(能登地震キリスト災害支援会)との連携のもと、3月6日(水)に、輪島市立門前中学校で第二回目の炊き出し支援を実施しました。このために北海道・東京・関東・大阪・広島



の救世軍関係者からなるチームが派遣されました。つくりたての温かい焼肉・野菜弁当 390食を門前中学校に避難されている方々と近隣の方々に提供することができました。また、門前中学校では調理後、学校の



授業が始まる前までの短い時間、ブラスバンドの演奏をおこないました。

●東日本大震災追悼記念コンサートへの参加

3月11日(月)、「愛と希望のコンサート2024」(宮城三陸3.11東日本大震災追悼記念会主催)が石巻市のビーワン教会でおこなわれ、救世軍ジャパン・スタッフ・バンドアンサンブルが出演しました。聴衆、他の出演者と共に祈りに心を合わせました。



〈ケニア〉開戦100周年記念集会

アフリカ東部のケニアで、救世軍は開設から100周年を迎え、世界の救世軍のリーダーであるリンドン・バッキンガム大將夫妻が訪問し記念集会を導きました。2月22～25日にはケニア西部軍国で、男性、女性、青少年向けのそれぞれの集会があり、日曜日には2万人以上の兵士(信徒)が証しのパ

レードをし、聖別会(礼拝)に集まりました。2月26日～3月3日にはケニア東部軍国での集会があり、聖別会では250人の人々が新たに救世軍兵士となりました。この集会にはウィリアム・ルト大統領や、ナイロビの首長もゲストとして出席しました。

大將夫妻はどの集会でも、賛美と祈りと聖書の言葉の力を強調し、イエスキリストの福音を伝え、清い生き方をするように、とメッセージしました。



〈万国社会正義委員会〉国連女性の地位委員会への参加

3月11～22日、米国ニューヨークの国連本部で第68回国連女性の地位委員会が開催されました。救世軍も、万国社会正義委員会女性グループのメンバーがいくつかのセッションに参加しました。世界の女性の10.3%が極度の貧困状態で暮らし、しかも男性たちよりも貧しいという現状がある中で、「貧困に対処し、ジェンダーの視点に基づいた制度や資金調達を強化することによって、ジェンダー平等と、すべての女性と女兒のエンパワーメント(能力強化)を加速させる」という主要テーマのもと、様々な会合がもたれました。

救世軍とは? What is The Salvation Army? 心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍は、世界134の国で活動するプロテスタントのキリスト教会で、国際本部は英国ロンドンにあります。1865年、英国のメソジスト教会の牧師ウィリアム・ブースと妻カサリンによって始められ、東ロンドンのスラム街で困難な生活状況にある人々に助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えてきました。

日本では1895(明治28)年に英国から士官(伝道者)が来日して、救世軍の働きが始まりました。日本人で最初に救世軍士官となった山室軍平は、聖書のメッセージを伝え、小隊(教会にあたる)を拠点として伝道を進めるとともに、廃娼運動や結核療養所の設立をし、日本の医療、社会福祉分野での先駆者の一人にも数えられています。現在、日本では全国40の小隊、2つの病院、19の社会福祉施設を通して働きを進めています。4、5月には、新年度を迎える子どもや学生を対象としたキャンプや集会をおこなっています。若い人たちが神と出会い、自分が神に愛されている存在であると知る時となるよう願っています。

☆『キッズ・ゴスペル』コーナー☆ (子ども向け紙面) 左のQRコードから、今月の『キッズ・ゴスペル』を閲覧できます! 聖書のお話も動画で見られます。ぜひ、ご覧ください!

救世軍公報 ときのこえ 発行日 福音版/毎月1日、広報版/奇数月15日 定価 福音版/1部40円、広報版/1部100円 (税込) クリスマス特集号(12月1日号)/1部100円 振替 00180-5-4400 発行兼 救世軍 印刷人 代表者 スティーブ・モーリス 編集人 山谷 真 発行所 救世軍本営 https://www.salvationarmy.or.jp 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 電話 03-3237-0881(代表) Mail jpn.editorial@jpn.salvationarmy.org 印刷所 ピーアンドエス

聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会 救世軍は、旧統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題でお悩みの方は、下記救世軍にご相談ください。 【取り扱い支部】 救世軍への連絡をご希望の方は、以下の中から該当する項目及び住所氏名をご記入の上、救世軍本営(左記)もしくは、上記救世軍にご連絡ください。 ・私の近くの救世軍を紹介してください。 ・キリスト教についてもっと知りたいです。 ・『ときのこえ』の購読を申し込みます。 ・相談を希望します。